



# 香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会  
高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



豊稔池ゆる抜き（観音寺市大野原町）

## 目次

1. 香川県へ農業農村整備事業の推進について要望 .....2
2. 香川県議会へ農業農村整備事業の推進について要望 .....3
3. 令和4年度農業農村整備事業関係予算概算要求 .....4
4. みどりの食料システム戦略 .....5
5. かがわ水土里ネット女性の会通常総会開催 .....6
6. 土地改良だより 高松市十河土地改良区 .....7
7. 人事異動／お知らせ／会と催し .....8

## 香川県へ農業農村整備事業の推進について要望

8月24日、本会の大山会長をはじめ、組橋副会長、三笠副会長、野瀬常務理事の役員4名が会員を代表して香川県庁を訪れ、農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、県予算の確保等について要望活動を行った。

県庁では、浜田県知事をはじめ、農政水産部の幹部の方々に要望書を手渡し、自然災害のリスクが高まる中、灌漑目的だけでなく、防災機能を有する土地改良施設の適切な維持管理のため、土地改良区の運営基盤強化の支援・指導に努めること。更には土地改良施設の維持管理に有効な「多面的機能支払制度」の推進が必要不可欠であること。「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」や「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に則り、ため池の適正な保全管理及び計画的な防災工事など、総合的なため池の防災減災対策の推進等についてお願いした。



浜田県知事に要請



西原副知事に要請

### 要 望 書

1. 地域の実情に即した農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、政府及び関係機関に対して働きかけるとともに、県予算についても十分な確保を行うこと。
2. 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」並びに「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に則り、ため池の適正な保全管理、計画的な防災工事など、総合的なため池の防災減災対策の推進に努めること。
3. 自然災害のリスクが高まる中、灌漑目的だけでなく、防災機能を有する土地改良施設の適切な維持管理のため、土地改良区の運営基盤強化の支援・指導に努めること。  
土地改良施設の維持管理に有効な「多面的機能支払制度」を推進すること。

## 香川県議会へ農業農村整備事業の推進について要望

8月31日、本会の大山会長をはじめ、組橋副会長、三笠副会長、野瀬常務理事の役員4名が会員を代表して香川県議会を訪れ、農業農村整備事業の計画的な推進を図るため、十河議長、高城副議長、谷久経済常任委員会委員長に対して要望書を手渡し、県予算の確保等について要望活動を行った。

特に、ため池の適正な保全管理、計画的な防災工事など防災減災対策の推進並びに、土地改良施設を適切に維持管理する土地改良区の運営基盤強化について支援・指導をお願いした。また、今後農業従事者の高齢化や減少が進行し、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担増加が懸念される中、「多面的機能支払」の取り組み面積の拡大や活動組織の強化に向けた支援及び指導に努めるため、地域住民とともに土地改良施設の保全管理を行っている「多面的機能支払制度」の更なる推進についての支援もお願いした。



香川県議会十河議長に要請



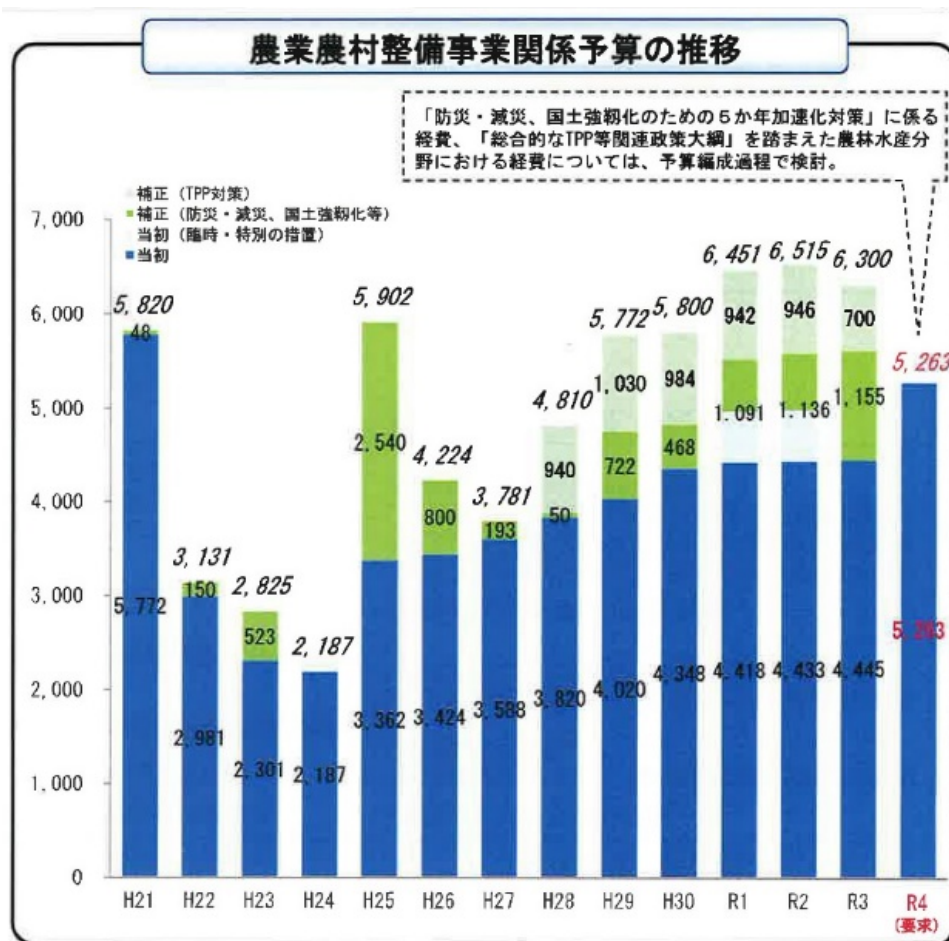
本会大山会長らによる要望内容説明

# 令和4年度農業農村整備事業関係予算概算要求

農水省は8月31日、令和4年度の総額2兆6842億円（対前年比116.4%）の概算要求を財務省に提出した。生産基盤の強化や同省の「みどりの食料システム戦略」の推進、農地利用や農業者の確保に向けた施策が柱となっている。

農業農村整備事業関係予算では、農業農村整備事業（公共）、農業農村整備関連事業（非公共）及び農山漁村地域整備交付金（公共）（農業農村整備分）を合わせて5,263億円（対前年比118.4%）を要求している。

また、農水省では、将来にわたり食料の安定供給を図るために、災害や温暖化に強く、生産者の減少などを見据えた農林水産行政を推進するために、「みどりの食料システム戦略」を策定したが、この関連予算として、技術開発や農家の実証実験事業に65億円、モデル地域づくりに向けた交付金などに30億円を計上している。



(単位：億円)

	令和3年度 当初予算額	令和4年度 概算要求額	前年度比
農業農村整備事業（公共）	3,333	3,946	118.4%
農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金〕	518	625	120.6%
農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	595	693	116.5%
計	4,445	5,263	118.4%

(注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。  
2 デジタル庁計上の政府情報システム予算含む。

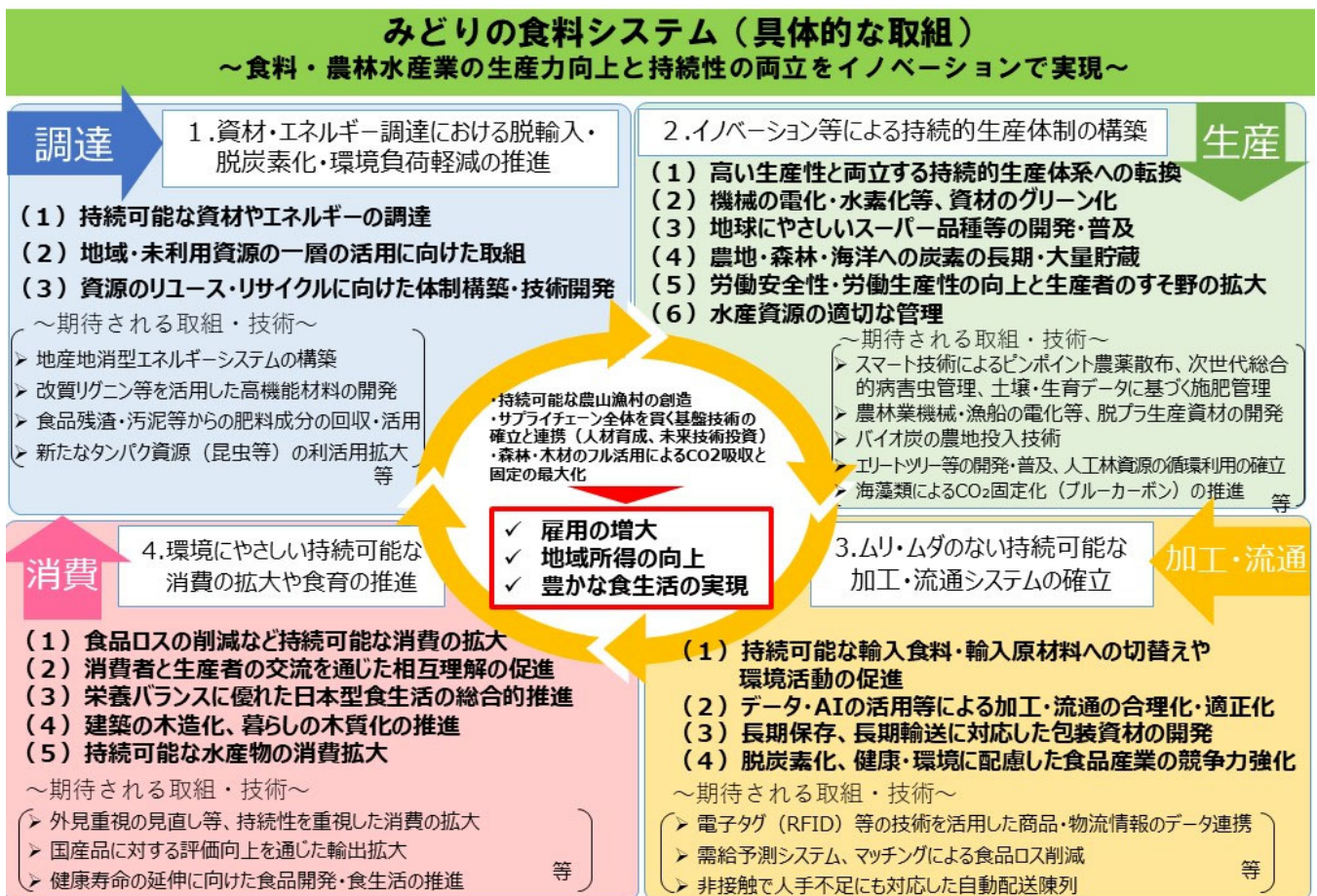
# みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

## 【要旨】

我が国の食料・農林水産業は、地球温暖化や大規模自然災害、生産者の高齢化や減少等の生産基盤の脆弱化、さらには、地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化への対応など、大変厳しい課題に直面している。一方、様々な産業で、SDGs（持続可能な開発目標）や環境への対応が重視されるようになり、我が国の食料・農林水産業においても的確な対応が必要であること、また、国際的な議論の中で新しい食料システムを提案していく必要があることから、農林水産業や地域の将来を見据えた持続可能な食料システムの構築が急務となっている。

このため、農林水産省は令和3年5月、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、新たに「みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～」を策定した。



これらの目標の実現に向けて、調達から生産、加工・流通、消費における関係者の意欲的な取組を引き出すとともに、革新的な技術・生産体系の開発と社会実装に取り組んでいくこととしている。

「みどりの食料システム戦略」及び関連資料は農林水産省ウェブサイトを参照

(<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/team1.html>)

## かがわ水土里ネット女性の会通常総会開催

8月23日、高松市のレクザムホールにおいて、かがわ水土里ネット女性の会通常総会が感染防止対策の為、一部オンラインを用いて開催された。来賓として、水土里ネット香川大山茂樹会長、香川県農政水産部井川一郎次長、中村正樹農村整備課長、特別講師として全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問に出席頂いた。

開催にあたり大平会長より、「全ての女性が輝く社会」を旗印に、土地改良区の体制強化はもとより、農業農村整備に携わる女性のスキルアップや会員相互の連携による業務の効率化、土地改良区への円滑な複式簿記の導入移行を目指したい旨の挨拶があった。その後、大山会長及び井川次長からの来賓挨拶に続き、下記の3議案が審議され、いずれも原案どおり承認された。

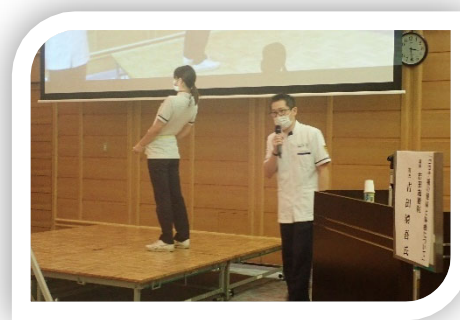


挨拶する大平会長

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 令和元年度及び令和2年度活動報告について |
| 第2号議案 | 規約の一部改正について          |
| 第3号議案 | 令和3年度事業計画について        |



全国水土里ネット会長会議 顧問 進藤金日子氏



吉田施術院 院長 吉田清吾氏

総会終了後、オブザーバーとして出席頂いた農村整備課の清田真紗子主任と北畠友理主任技師による「土地改良事業の概要等について」の研修を受け、土地改良事業についてより一層理解を深めることができた。

東京の進藤金日子顧問には、「農業・農村における女性の参画について」をテーマに、農業における女性ならではの視点が農業の発展に貢献していることや女性活躍の為の環境整備の重要性についてお話頂き、女性の会を活用し横のネットワークを広げ、女性の可能性を最大限に発揮できる農業の推進に向けた力強い講演を頂いた。

吉田施術院の吉田院長先生の講演では、タオルを用いて簡単に出来るストレッチを、実際に身体を動かしながら行うなど、全ての研修において有意義な時間となった。



### \* 研 修 \*

1. 土地改良事業の概要等について  
香川県農政水産部農村整備課 主任 清田真紗子 主任技師 北畠友理
2. 農業・農村における女性の参画について  
全国水土里ネット会長会議 顧問 進藤金日子
3. コロナ禍の健康と体操について  
吉田施術院 院長 吉田清吾

～土地改良区だより～

高松市十河土地改良区は、昭和28年3月11日に設立し、高松市東南部に位置している。南北約5.3km、東西約2.0kmで東側は木田郡三木町に接しており、十川西町、十川東町、小村町、亀田南町の農地保有者で構成されている。標高約20mの比較的平坦な地帯で南北に細長く、地域を二分するように県道高松大内線（10号線）バイパスが通り、フジグラン等大型店舗が誘致され、さらに、新興住宅や企業の立地により、農村環境は大きく変貌を遂げている。

営農状況は水稻を中心に、ブロッコリー、トマト、オクラ、ナバナ等都市近郊型の野菜の供給地として、経営の合理化が進められている。また、地域内には「JA香川県いきいき産直十河店」があり、産地直送の新鮮な野菜や果物を地域の消費者に供給している。

主な土地改良事業は、団体営かんがい排水事業東十川地区水路改修工事（S55～S60）を事業費77,772千円で行った。さらに、団体営土地改良総合整備事業小村地区用排水路・農道整備工事（S57～S60）を事業費93,000千円、十川南地区圃場整備工事（S57～S63）を事業費80,500千円、宝地地区圃場整備工事（S62～H2）を事業費87,500千円、三子谷地区圃場整備工事（H5～H9）を事業費170,800千円及び団体営ため池整備事業香地池地区（S54～S59）を事業費47,900千円で行った。

水利状況は香川用水受益地内で、平田池、外山池、香地池等大小8ヶ所のため池があり、また、四箇池土地改良区を通じて、公渕池、神内池などから配水を受けている。理事の橘勝住氏の話によると外山池の水源は、香川用水が導水されるまで、三木町の大師山と三ツ子石谷の水に頼っていた。堤の祠は、池の守り神として、千太郎狸が祀られているとのことである。また、十河地区では、現在、亀田南町、外山池、香地池及び西ノ岡の各環境保全組合において、多面的機能支払交付金を活用した事業が行われており、ため池・水路・農道法面の草刈りや水路の泥上げを行っている。

農家の高齢化が進み、後継者不足となっているが、集落営農組織として、令和2年8月1日に「結まーる」、令和3年3月10日に「亀田南町グリーンファーム」が認定されており、今後とも地域農業が維持継続されるよう、土地改良区事業の推進に努めていきたい。

高松市十河土地改良区



団体営土地改良総合整備事業  
十川南地区・宝地地区



団体営土地改良総合整備事業三子谷地区・団体営ため池整備事業香地池地区



川東敬幸理事長と内藤美佐書記

土地改良区の概要

所在地 高松市由良町372番地17  
 受益面積：297.0ha（田285.0ha・畑12.0ha）  
 組合員：609名（総代34名）  
 理事：9名 監事：5名 職員：1名  
 表彰実績：昭和61年 全国土地改良事業団体連合会 銅賞  
           ：平成4年 全国土地改良事業団体連合会 銀賞  
           ：平成13年 全国土地改良事業団体連合会 金賞



人 事 異 動

【中国四国農政局】

(7月25日付)

新	旧	氏 名
中国四国農政局地方参事官	農村振興局整備部設計課付（国際派遣）	渡邊 史郎

**お知らせ**

令和3年度複式簿記導入促進特別研修(Web方式による研修)を下記により開催します。

記

1. 日時 令和3年10月14日(木)9時30分～
2. 場所
  - ①各事務所
  - ②香川県内場池土地改良区会議室
  - ③香川県土地改良事業団体連合会仲多度支所会議室
  - ④香川県土地改良事業団体連合会三豊支所会議室

) 会 と 催 し (

開催月日	会 の 名 称	開催場所
8月23日	かがわ水土里ネット女性の会通常総会	高松市
8月25日	土地改良区会計に関する相談	高松市
8月26日	香川県ため池保全管理協議会	高松市
9月8日	都道府県土地改良事業団体連合会等事務責任者会議 (Web)	高松市